

# 「キレイの力」プロジェクト 2018年度 活動報告書



N P O 法人 キャンサーリボンズ

# 2018年度ウィッグ・サポーター活動 実施報告

## <実施概要>

2017年10月～12月にかけて全国の看護学校10校にて説明会を実施。

967名の看護学校に対して、プロジェクト紹介とウィッグサポーターへの呼びかけを行い、92名がサポーター活動を行いました。

パンテーン製品は説明会参加者へ配布、サポーター活動参加者には1月、4月の2回に分けて配布。

## <説明会実施日・実施校>

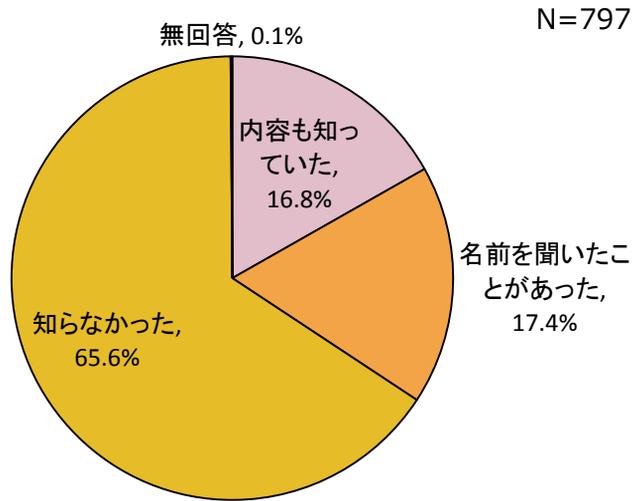
2017年 説明会日程	学校名	2017年 説明会人数
10月3日(火)	横浜実践看護専門学校	83
10月24日(火)	昭和大学医学部附属看護専門学校	157
10月31日 (火)	国立病院機構岡山医療センター附属 岡山看護助産学校	104
11月6日(月)	八戸学院大学	66
11月13日 (月) * 1回目	聖マリアナ医科大学看護専門学校	85
12月14日 (木) * 2回目		73
11月29日 (水)	深谷大里看護専門学校	45
12月4日(月)	東京純心大学 看護学部看護学科	71
12月7日(木)	東都医療大学	132
12月15日 (金)	藤田保健衛生大学看護専門学校	78
12月21日 (木)	岩国医療センター附属岩国看護学校	73
合計	10校	967

## <説明会様子>

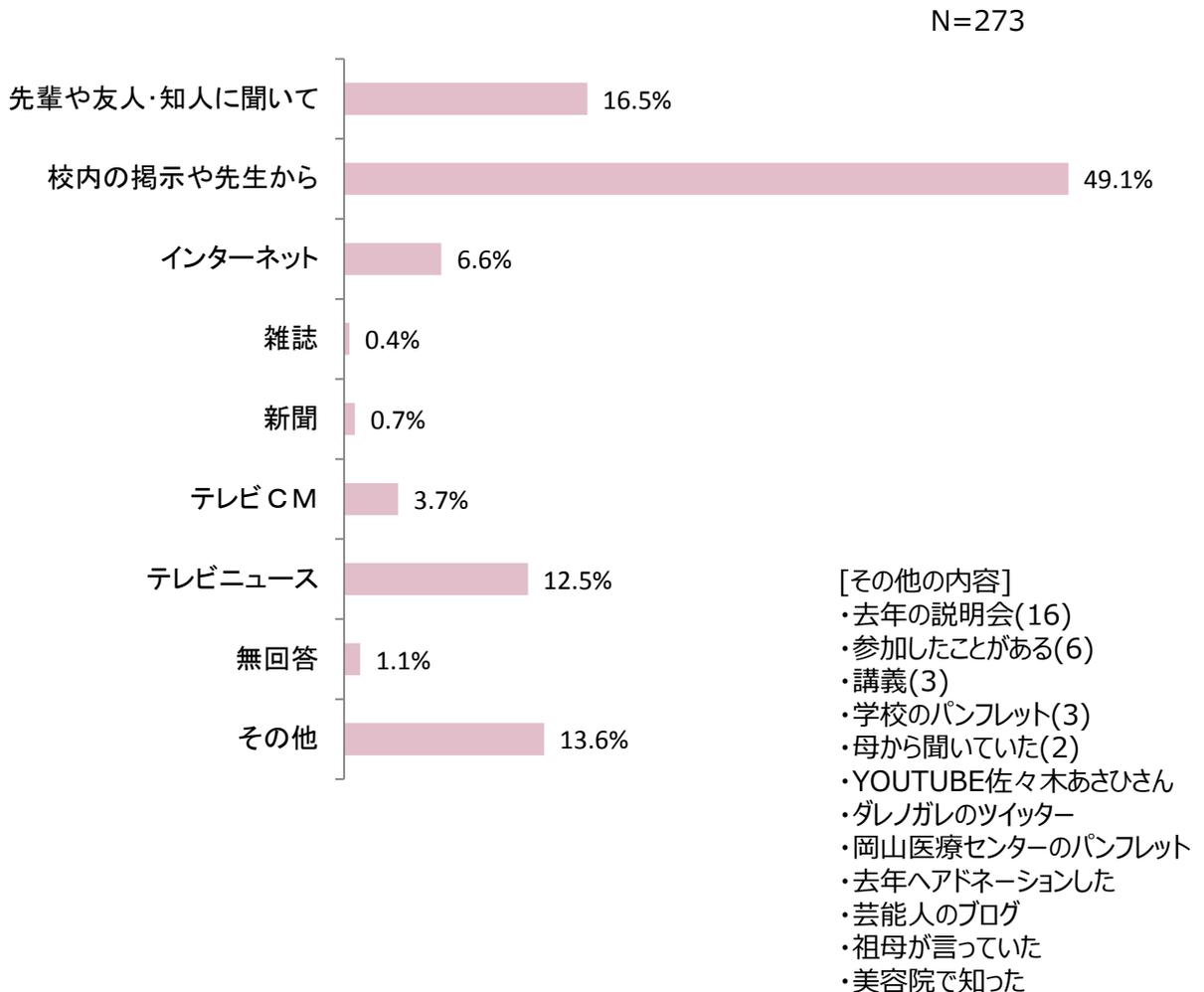
プロジェクト概要の説明、映像を通じたの活動紹介、また一部の学校では、キレイのカプロジェクト第一期生の栗橋登志さんが説明会の実施やご自身の体験をお話いただきました。



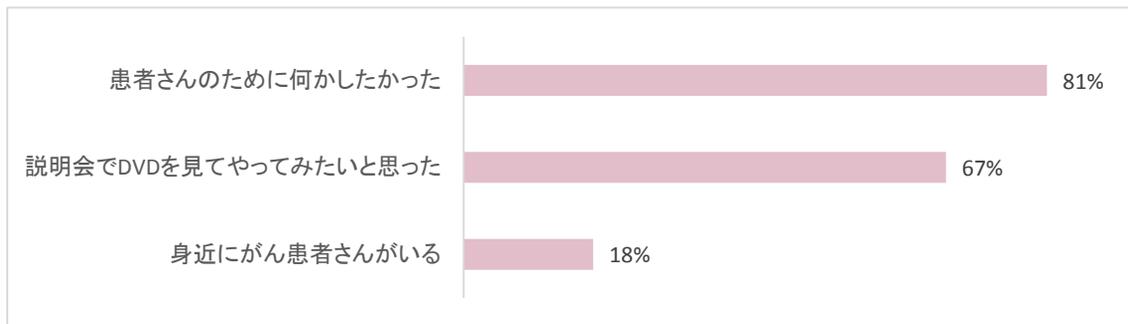
(1) 説明会の前に「キレイのカ」プロジェクトをご存知でしたか？



(2) 「キレイのカ」プロジェクトをどこで知りましたか？（複数回答可）



Q.サポーターとして参加した理由（複数回答可） N=67



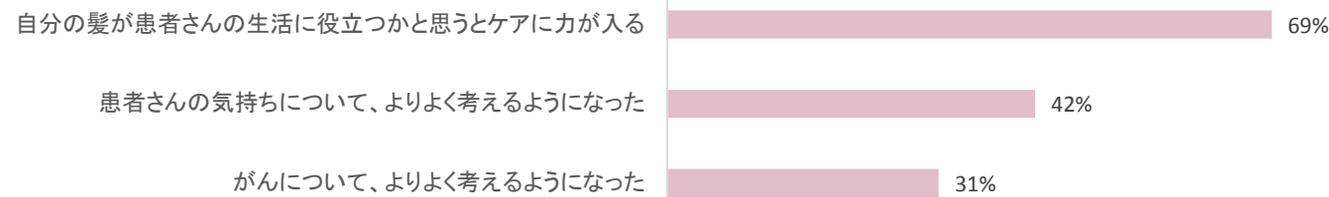
(自由回答) Q1.サポーター参加理由

- ・小学生の妹が髪の毛を31cm寄付したので
- ・実習で患者さんにお世話になるので、少しでも恩返しができればと思ったから
- ・前回、サポーターとして参加した時、実習以外でも患者さんのために何かできる活動ができていたのはいいなと思い、今回も参加しました
- ・一年生のときにできなかったので、やろうと思った
- ・がん看護に興味があり、がんセンターへ就職も考えているため
- ・遺族会へ参加した時に、患者のもっとも身近であった家族との会話から
- ・学生でも患者さんの力になれるので参加しました
- ・何か少しでも役立つことがしたかった
- ・大学の先生からこのプロジェクトの話聞いた時に、今まで一度も染めずに伸ばしてきたこの髪が役立ったらと思い参加を決意した
- ・祖母が乳がんを患っていたという過去があるため
- ・医療用のヘアウィッグは何十万もすることを説明会で初めて知りました。それに、このような体験は看護学生にしかできないと思ったのでやってみようと思いました。
- ・身近にがん患者さんがいたため
- ・以前参加したいと思い、自分でいろいろ調べたのですが、どのように申し込んだらよいかわからず、あきらめてしまったため、チャンスがあるならばやりたいと思ったからです
- ・結局髪を切るなら提供しようと思った
- ・前回も参加して、もう一度したいと思ったため

Q.「がん」について思うこと（回答のあったもの）

- ・長い期間の治療で身体的にも精神的にも辛いと思う
- ・治療とかで身体的にも精神的にも大変かと思えます
- ・化学療法を受けるとつきものな副作用は様々で、身体的苦痛と戦いながらも、脱毛に関しては精神的な苦痛も与えてしまうため、心のケアとして行えることは看護学生としてできることをしていきたい
- ・治療するのに様々な苦を乗り越えなければならない
- ・抗がん剤治療の副作用が強い。再発が多い、闘病しながら働いている人もいる
- ・がんは病気の中でももっとも用紙が変化していく病気
- ・がん患者は心身ともに辛いと思います。また、がん患者を周りで見ているご家族もとても辛いのではないかと思います
- ・がんと言われるだけで、他の疾病も同じかと思いますが、気持ちは暗くなります。不安だったり、希望を無くす人もいます。そんな人を少しでも何らかの形でケアしたいです
- ・早期に見つかれば、治る可能性があるが、発見が遅くなると転移しており、抗がん剤の治療でたいへんおつらい思いをされている。「がん」という言葉を聞くだけで精神的にショックを受けると思う
- ・進行がはやいため、早期発見・治療がとても大切になってくると思います
- ・体だけでなく心も大きな傷がつき、私たちに想像もつかないような大変苦しく辛いことだと思います
- ・進行度によっては腫瘍をとり除くことができず、患者は死を意識してしまう
- ・祖母が、抜毛で悩んでいてウィッグを使っていたのですが、がんになって体が痛かったり辛かったりするのに、それにプラスして副作用によって髪の毛がどんどん抜けていってしまうのは、とても辛く生きる希望もなくなってしまうと感じました
- ・誰にでもがんになる可能性がある。予防していてもなることはある
- ・どんな人も癌になりたくてなる訳ではないこと。いずれ、もしかしたら、自分もなるかもしれない、説明会でDVDを見て、がん患者さんの少しでも力になりたいなと感じました
- ・抗がん剤の副作用により、脱毛以外にも様々な影響がある。免疫力も低下し、思うように身体を動かせなくなったり、入院前と比べて体重減少もあり、心身共に辛い思いをされると思う
- ・死を身近に感じてしまう、不安が多い病気だと思います。その不安をヘアウィッグで少しでも少なくしたいです
- ・がんを発症されると心身ともに大きな負担となるから、体の治療だけでなく心のケアも大切にしていかなければならない
- ・日本人の2人に1人はがんになると言われている時代で、「がん」という言葉を1日に聞かない日がないと感じます。身近にも「がん」を患っている人がいます。少しでも何か役に立てる事があるなら役に立ちたいと思います

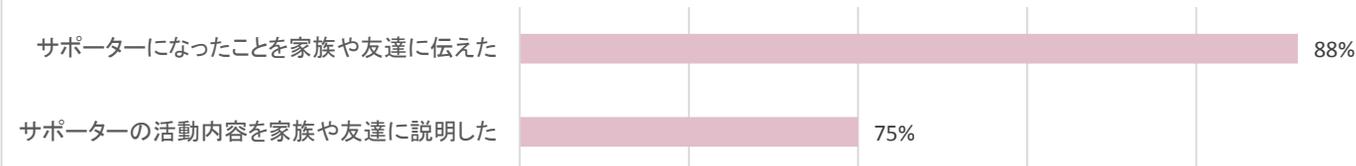
Q.サポーターになってからのお気持ちについて（複数回答可） N=52



(自由回答)

- ・自分の髪が役に立つと考ええると嬉しく思う
- ・がん患者の人たちのために髪を伸ばしていると思うとケアに力が入るようになったが、本当に自分のこの髪でウィッグができるか不安になってきた
- ・少しでも良い髪を提供したいと思うようになりました
- ・患者さんを受け持たせて頂く際に、疾病のことばかりでなく、もっと患者さんの気持ちを考えて関わりたいという気持ちが以前より強くなった
- ・普段髪のケアはあまり気にしていなかったのですが、自分の髪を待ってくれる人がいると思うと、なるべく痛まないようにと意識してケアするようになりました
- ・髪の毛をきれいにするように心がけてから、周りからもほめられるようになりました

Q.サポーターになってからの行動について（複数回答可） N=52



(自由回答)

- ・周りの人に伝えると「そういうのがあるんだね」等きかれました
- ・父が美容師なのでサポーターになったことを伝え、美容院でもできないか協力をおおいだ
- ・家族や友人には積極的に話すようにし、こういう活動があるということを知ってもらいました
- ・30cm以下でも寄付できることを説明したら、驚いている友人が多かったです。
- ・髪へのダメージが少ない洗い方を調べて実践している
- ・今後与えると考えると、きちんとケアしなきゃとおもうようになった
- ・髪を丁寧に洗うように心がけるようになった
- ・美容院でケアした。美容師にも広めた

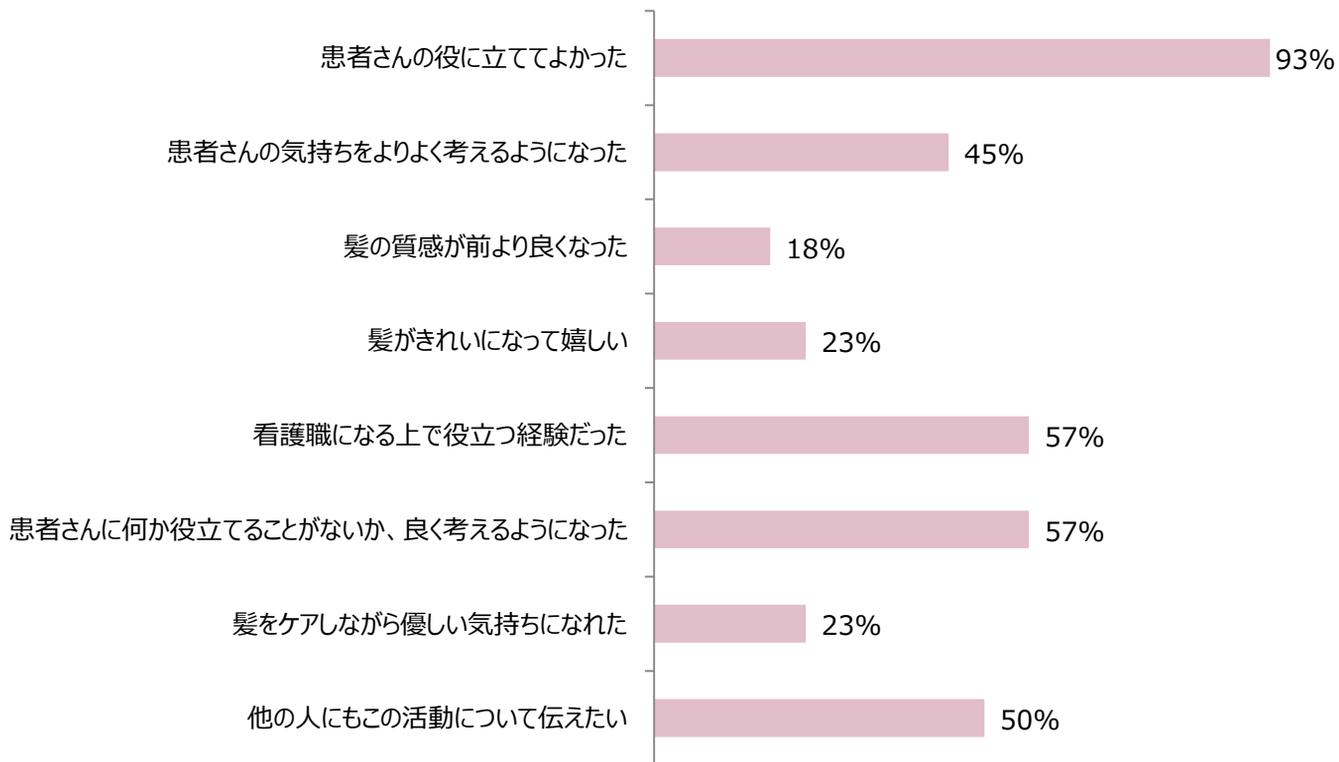
Q.「看護職」という職業について気持ちの変化  
(回答のあったもの)

- ・誰かの役にたてることについて、良く考えるようになった
- ・患者さんの思いをより近くに感じる事が出来たと思うので、実習では今まで以上に患者さんに寄り添っていけると思います
- ・患者さんの見ることはできない気持ちを感じ取り、寄り添うことが大事だと思った
- ・人の役に立ちたいという思いが強くなりました
- ・患者さんの気持ちを考えることの大切さを身につけるキッカケとなりました
- ・看護職として、寄り添うだけでなく、貢献できることがあるとわかりました
- ・患者さんの気持ちに寄り添えるような看護師になりたいと思った
- ・自分の髪の毛を待っていて、喜んでくれる人がいると思うと、うれしいし、その人たちのために、髪をきれいに保とうと思いました。こういう気持ちが看護師には必要とおもいました
- ・患者さんの生活に寄り添うことも求められると思いました
- ・他の看護師さんよりもがん患者さんの気持ちに向き合うことができると思った
- ・看護職に就くひとりの人間として、副作用等で髪が抜けてしまうという辛い経験は知っておくべきだと感じていたが、現実としてそれは不可能なのでこの活動を通して少しでもそのような患者様の力になればと思うようになった
- ・患者さんの援助やサポートを髪を提供するという形でもすることができるとわかり、今後もこういった活動に参加していきたいと思うようになった
- ・今回のプロジェクトで一人でも多くの方が、前向きな気持ちになってもらいたいと思っている
- ・患者さんの気持ちを思いを考え、何が出来るかを深く考えるようになった
- ・看護職は人の役に立てる素晴らしい職業であることを再認識し、なりたいという気持ちがさらに強くなった
- ・目の前にいる人の事だけでなく、様々な形で人の役に立てることがあると思い、こういった機会があれば参加してみたいです
- ・何かできることはないかと常に意識するようになった
- ・勉強している知識や技術だけでなく自分の髪の毛も役に立つと思うとすごくうれしい
- ・仕事だけでなく、こういった活動によって少しでも患者さんの役にたてることを感じた
- ・誰かのためということについて考えるようになりました
- ・患者に寄り添える看護師になりたいと思う
- ・ひとりひとりの患者さんに対して自分のできることはそれぞれ違うと思うので、その人にあった看護をしていきたいです
- ・処置やケアだけが看護ではないとおもった
- ・患者さんのことをもっと考えようという気持ちが増した
- ・学生のうちから、患者さんのためということを考え、実習でも患者のために何が出来るか考えて行動するようになりました
- ・今は学生であるため、なかなか患者のためになる看護はできていないが、看護師になったらもっと大きな事で患者のためになりたいと思った
- ・看護職は間接的ではなく直接的に患者にかかわれるので、患者さんの喜びなどを共有できるので、良い職業だと思います
- ・患者さんのことをしっかり考えるようになった
- ・看護職として患者さんのふあんにしてもっと深く考えるようになりました
- ・看護処置以外でも役に立てる事があると感じる

## Q.社会貢献について気持ちの変化（回答のあったもの）

- ・自分の小さな行動でも誰かの役に立っていると思い、積極的に寄付などを行うようになりました
- ・患者さんに少しでも何らかの形で返していけることが嬉しい。実習では受け入れてもらうだけなので
- ・看護師などの医療職従事者でなくても、特別なスキルがなくても患者さんの役に立つことができるとおもうようになりました
- ・もっともっといろんなボランティアに参加していきたいとおもった
- ・私でも社会貢献できると思うと嬉しくなりました
- ・自分の髪が使ってもらえることで、笑顔になったり、生きる希望になるという考えをもつようになりました
- ・今後も多くの活動に参加し、社会貢献していきたい
- ・献血や、このような活動に積極的に取り組みたいとおもいました
- ・ボランティアは自分が参加仕様と思うと参加できるので、できることをやってみようとおもいました
- ・自分の髪を切って、がん患者さんにあげるのもいいことだと思った。一人でも多くのがん患者さんに勇気や希望をあたえられるのかなと思う
- ・もともとロングヘアの私にとって、髪を伸ばすことはそんなに苦痛なことではないので、このような活動がもっと広まって色々な人が活動に参加できるとさらに良いのではないかとおもう
- ・自分の髪が役に立つのが嬉しいという気持ちが強くなった。今後もこういった活動に積極的に参加していきたいと思う
- ・どんな小さなことでも自分に出来ることに取り組みたいと思った
- ・誰でも簡単に社会貢献ができるということを知った
- ・社会貢献には様々な形があると思いました
- ・ボランティア活動に積極的に参加するようになった
- ・他にも何かできることはないか考えるようになった
- ・人の役にたてるということはすごく良いことだし大切な気持ちだとおもった
- ・自分が何かを考え、行動にうつすことに意味があるのではと感じるようになった
- ・人の役に立つことをこれからも行っていきたい
- ・誰かのために何かをするということは、相手のことも自分のことも大切にしていなければいけないのかなと考えるようになりました
- ・学生の内から、がん患者さんの役に立てることはうれしいと思う
- ・自分にもできることがあるのだという気持ちになった
- ・いつもだったら髪は切って終わりだったけど、誰かのためになるのはすごいなとおもいました
- ・ウィッグサポーターという小さなことであっても、誰かのためになることは事実であることが分かりました
- ・直接ではなく間接的にも社会貢献できるのは良いと思います
- ・自分の髪が誰かの役になることがあると知り、これがいろんな方に広まると良いなと思い友人に話すようになった
- ・どこかで誰かが笑顔になっていると思うと頑張れます
- ・見ず知らずの患者さんの力になれる、その方の励みになれると思うと、嬉しく思います
- ・自分が出来ることを少しだけでも社会貢献として行うだけでなく、大人になったなと感じるようになった。これを機に、他の社会貢献にも積極的に参加しようと思う

Q.活動を終えた気持ち (複数回答可) N = 74



## Q.サポーター活動を振り返っての感想

- ・今の自分にやれることをがんばろうと思います
- ・且つ道中は伸ばすのが大変で暑かったり、染められないのでやめようかなと思うことが何度もあったけれど、今は自分の髪の毛で患者さんが笑顔になれることが嬉しいです
- ・こんな自分でも役に立つことができるなら嬉しいと思う
- ・切った髪をみて、この髪が役に立つことを考えると嬉しくなった
- ・この活動に参加すると決めた時は自分の髪ではたしていいのか悩んだが、パンテーンを使い始めて髪質がよくなり、自分のためというより患者さんのためのケアという思いが強くなった。長さは足りないかもしれないが、違う形でもサポートできてよかった
- ・意識を高める事
- ・自分の髪の毛を使って、役立てて嬉しく思う
- ・患者さんに役立ちたいという思いから始めてこのサポーターになれてよかったと思います。この髪で喜んでもらいたいという気持ちが活動を終えた時に強く感じました
- ・患者さんの気持ちを考えることができる時間だった
- ・少しでも患者さんの役に立てるのであれば嬉しい
- ・自分の髪が患者さんの役に立てることが本当に嬉しかったです。且つ道中は、髪の手入れを以前よりも丁寧にやりました。今後も続けていきたいです
- ・この活動が人生の糧になれば良いなとおもいます
- ・ずっと伸ばしてケアをするのは大変でしたが、誰かのために力になれると思って頑張りました。喜んでもらえたら嬉しく思います
- ・患者さんの役に立てるだけでなく、自分がかん看護について今までより深く考えていくよい機会となった
- ・少しでも患者さんの役に立つことができればよいと思い活動を始め、且つ道中はヘアケアに力を入れ、私の髪の毛の質感が良くなりとても嬉しかったです。活動を終えて、また何かできることがあれば行っていきたいと思いました。すごく良い経験ができました。ありがとうございます。
- ・活動を始める時は、すぐに生えてくるし、役に立てるのであれば少しくらいと思っていました。活動を終えて髪が短くなったとき、脱毛で悩んでいる患者さんの思いが分かりました。良い経験になりました
- ・活動を始める時はあまり実感がわかず、ただ髪を伸ばしてきたけれど、実際に切ってみて、髪をみたらこれが本当にウィッグになるのかと、これで喜んでもらえるのかと、嬉しく感じました
- ・活動期間はあっという間に終わってしまったけど、いざ髪を切るとなって役に立てるという実感がわいてきました
- ・まだ学生の自分でも出来ることがあるということを知り、活動に参加しました。髪を伸ばし続けることが久々だったので、ケアが大変でしたが、パンテーン商品で、大切にケアしてこれたと思います
- ・患者さんの日常生活を送る上で役に立てばと思いました
- ・髪を伸ばすのは大変だったが、この髪が誰かの役に立てるなら、頑張ろうと思った
- ・数か月間伸ばし続けた髪を切って、やっと患者さんの元に届けられると思い、とても嬉しい気持ちです
- ・自分の髪が誰かの役に立てると思い、しっかり髪をケアをするようになりました。自分の髪を寄付することで少しでも多くのウィッグを作ることができ、患者さんにウィッグを届けられると嬉しいです
- ・ずっと長かった髪を、どうせ切るなら役立たせたいと思い参加しました。思い切って切ったことでスッキリしたし、この髪が誰かの役に立つと思うととても嬉しいです
- ・学生という立場ですが、患者さんにとって自分らしく笑顔で生活してほしいと思い、活動に参加させていただきました
- ・まだまだ知識や技術が未熟で何も出来ないと思っていましたが、こうして髪の毛を伸ばし、寄付するだけで少しでも【役に立てる】と思ったら嬉しかった
- ・活動開始時は、患者さんの役に立ちたいと思い始めたが、日が経ち、実習抗がん剤治療中の患者さんとかかわったりする中で、これまで実習中しか気持ちを考えていなかったがケア中も考えることができた
- ・頑張っただけで少しでも長く髪が伸びるよう、気をつけて活動をさせてもらいました。お役に立てる髪の長さまで伸ばすことができているかもしれないが、少しでもお役に立てたら幸いです
- ・自分では特に何とも思っていなかった、髪の毛でも、患者さんにとっては、特にきにしてしまう部分であると分かり、自分の髪が患者さんを笑顔に出来れば良いなと思います
- ・がん患者さんへのケアの視点が広がった
- ・活動に参加するたび、患者さんについて考えることが多くなり、看護師として働いていくために良い経験となった
- ・活動を知ってから、サポーターになりたいと思いました。活動を終えると、患者さんのために役に立てるのだという思いがとても強くなり、参加して良かったなと思いました
- ・自分の髪の毛が役に立つというのは不思議な感じだが、患者さんに喜んでもらえたらとても嬉しい
- ・実習でお世話になる患者さんのために何かが出来るとは無いかと思い始めた。自分の痛んだ髪ではあまり役に立てないと思ったけど少しでも、患者さんのためになれば良いなと思います
- ・髪の毛が抜けていくその辛さはどのようなものだろうと考えるようになった

## Q.サポーター活動は、今後の看護職としての活動にどのように生かせると思いますか。（回答のあったもの）

- ・病気の治療や進行によってボディイメージに不安を持つ人は多い。ということは学んでいましたが、この活動に出会わなければ深く考えることは無かったかもしれないので、【目を向ける】良い経験をしました
- ・いろんなことが患者さんのためになるということが分かった。その考えを今後も頭に入れて活動していこうと思います
- ・髪の毛をバツリ切るとはやはり少し抵抗があったので髪の毛の大切さを改めて知ることができたため、患者さんの気持ちを少しでも理解することができるのではと思う
- ・患者さんのことを考えた行動がとれる
- ・患者さんの気持ちを考えることにつながると思う
- ・がん患者さんの髪が抜ける悲しみなどの思いをくみ取りながら、かかわっていけると思う。またそれだけではなく《見た目》に対するケアも必要だと分かった
- ・がんなどで悩む患者さんの励みになるようにいかしていきたい
- ・がん患者さんの気持ちをより理解することができたからこそ、今後の看護師としての患者さんとの向き合い方が変わってくるのではないかと改めて思いました
- ・自分の提供した髪で頑張ってる人とたたかっている人がいると思うと、私も看護師として頑張らなきゃいけないと思う、意欲につながると思います
- ・より患者さんの気持ちを考えることができると思う
- ・相手の気持ちを考えて行動するという点が今後の看護職としての活動に生かせると思いました。患者さんが今何を望んでいるのかをちゃんと理解できるよう今後も勉強していきたいです
- ・病院内だけで看護だけでなく、違う視点からの支援を考えるきっかけとなりました
- ・患者さんのために自分になにができるか考えることの大切さを知りました
- ・治療だけでなく、患者さんの尊厳を守った看護が学べた
- ・患者さんの気持ちを考え、看護できると思います
- ・こういった些細なことでも、患者さんの心のケアが出来ることを学びました。今回の活動を通じて、心のケアにも関心を向けることを学びました。今後生かしたいです
- ・活動を通して、ヘアケアを面倒くさいと思っても、患者さんが喜ぶこと思えば患者さんのためにやらなくてはと思ったので、今後、看護職として大変なことがあっても患者さんのために頑張りたいです
- ・サポート活動を通して、自分にもできることがあるんだと感じる事が出来たので、今後看護師として働いた時に自分にもできることは何か？ということを考えながら、患者さんに寄り添っていくことができるのではないかと思いました
- ・患者さんの痛みを自分がかわってあげることはできないけど、ウィッグ提供という形で、精神面のサポートが出来たと思います。患者に精神面で我慢させるのではなく、自ら気づいてケアすることができるのではないかと思います
- ・患者さんのボディイメージについて考えることができました
- ・誰かのために頑張る気持ちをもてた。ウィッグの存在をしることができた
- ・患者さんと接する時、患者さんが今どのような気持ちなのかを考えながら、きちんと寄り添えると思った
- ・抗がん剤などで髪が抜けてしまった患者さんの気持ちを考えながら髪の毛のケアをしていたので、患者さんの気持ちに寄り添うという点で、今後生かせると思います
- ・がん患者さんの気持ちが少しでもわかった気がした。また、サポーター活動に参加したという事実が自分の自信となった
- ・医療面以外でも患者さんに喜んでもらえたり、笑顔になってもらえることがあるのだと改めて感じました
- ・がん治療などで髪が抜けてしまっても「医療用ウィッグ」というものがあると教えることができ、多少？でも励ますことができるのではないかと考えています
- ・抗がん剤治療による脱毛のある患者さんにウィッグをよりすすめやすくなった。また気持ちも深く考えられたのでボディイメージの低下がある患者の思いをくみとめていくのに生かせる
- ・患者さんの気持ちを理解する上で、生かせると思います。このような非常に貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました
- ・同じ気持ちをしている患者さんに、紹介することも出来ると思うし、より近い気持ちで共感できると思います
- ・日常生活を送る上で、髪型は患者さんだけでなく、私たちも気にするところだと思います。そういう「あたりまえ」のことで困っている、悩んでいる、というのを今後の看護にいかしたいです
- ・患者さんの気持ちを考え、身体ケアだけでなく心のケアにおいても患者にあったケアが行えると思う
- ・私でも患者さんの役に立てるのだという自信が湧きました。今後は患者さんに小さなことでも役に立てるように何か自分ができることをしていきたいと思えます
- ・患者さんの役に立ちたいという気持ちを、行動に移すことができたので、これからもしっかり行動にうつせるようにしたい
- ・患者さんについて考えることで、患者さんを理解することにつながると思う
- ・ボディイメージの変容によって、どのような心理になるのか患者目線で考える事

ウィッグを使い、日々楽しく過ごしてほしいです。

私の髪の色を役に出せることができて嬉しく思っています。貴重な体験となりありがとうございます。

私の髪が少しでも皆さんの勇気や元気につながれば嬉しいです！

髪の色が命がけで言われる言葉で気味が悪く、怖く感じました。  
明るく前向きに一度刻の人生楽しんでください。私も行ける看護師を目指し、頑張りたいと思います。

素敵なウィッグを使って楽しく輝やかな生活を送ってください。

自分にもできることがあると気づくことができる良い機会になりました。役に立つことができるとも光栄に感じています。ウィッグを使って、患者さんが楽しく輝いて過ごせる日が増えることを願っています。この経験を忘れずに看護師になって、たくさんの人を支えていけるようになりたいと思います。

自信を持って下さい！私たちがいつも側にいます！

1年以上、びを込めてケアした髪の色です。少しでもお役に立てたらうれしいです。髪の色があることで自信をもって生活ができますように、願っております。

少しでもお役に立てたなら幸いです。共に頑張りましょう！

みなさんのおかげで、私も患者さんの立場に立つ看護をしてみたいとより強く思いました。  
ぜひ、家族や友人の方とたくさん会って、出かけてください！

ウイッグをつけて肌しびを明るく前向きな気持ちに持って頂けると嬉しいです。

あなたの笑顔が私の喜びになります。

ウイッグを髪にできるのが嬉しい。ウイッグを大切にしたい。

ウイッグを使いながらよりよい生活を送るお手伝いができたいと思います。

私の髪の毛が患者様の生きていく希望の1つになれば嬉しいです。

髪の毛は女性にとって、とても大切な部分なので、このウイッグをきっかけに、自分に  
自信を持つようになるように努力したいと思います。私の髪の毛が役に立てるまで。

8月10日(金)横浜実践看護専門学校看護学生さんの一部は姉妹校の横浜 f カレッジにてカットを行いました。ヘアカットを行ったのは、横浜 f カレッジの美容師養成を行っている、ビューティースタylist科の学生さんです。



髪を切る前は看護学生さん、ヘアカットをする学生さんも緊張した様子でしたが、カットイベントが始まってからは、参加者同士の楽しい会話や笑顔が増えていきました。



看護学生さんから「キレイのカ」プロジェクトメンバーへ、ヘアドネーションの贈呈



今まで、考えた事もなく、意識した事もなかった、この活動力を始めてから、髪を手入れしているときなど自分の髪が誰かのためになるのだと考える事が多くなり、嬉しかった。

私は直接的には、これしか出来ないが、少しでも元気になってもうえるように、髪の手入れを行ってきました。

ワークが少しでも治療を行う為の支<sub>え</sub>になり、

笑顔になっていただけたらと思います。

こんな事しか、出来ませんか、使っていただけたら私、嬉しいです。

私は、キレイのプロジェクトを行う前は、おまの髪のお手入れなどしてました。ですが、このプロジェクトがあることを知ったとき、自分の髪を患者さんに寄附しようと思い参加しました。

私の叔母もがんで他界してしまいましたが、叔母が生きていた時は、抗がん剤の副作用で、脱毛してました。叔母は辛い思いで病気を戦っていたのを今も覚えています。

がん患者さんのためにも毎日、又かまずお手入れをします。

辛い思いをしていると思いますが、このワークを使用して

少しでも元気づけられたら良いなと思っております。

今回参加できてこれからヘアドネーションに関わって  
いきたいです!

私は看護学生さんの髪の毛を切るという役割でしたが  
看護学生さんのお話を聞くとウイッグを届けたいという思い  
がとても伝わってきました。

今はまだ学生なので機会がないと、こういった活動に  
関わることはできませんが、就職をし美容師になった  
時は、自らヘアドネーションを広めていくように活動して  
いきたいです。

このプロジェクトで、自分がなりたい美容師が仕事としている  
髪の毛を扱うことが人の気持ちを豊かにし、生活を彩やかに  
色どりを加えるということが分かりました。

このプロジェクトをたくさんの方に知っていたとき、少しでも  
多くの女性の心を豊かにし、より多くヘアドネーションをしたい  
という方ができれば良いとおもいます。

そして、将来美容師という形で少しでも多くのヘアドネーション  
に関わっていきたいです。

今回、美容学生としてこのプロジェクトに関わらせて

頂きました。「人のため」の仕事として、分野は違えど  
美容と看護には共通する部分があるのだと気付か  
される良い機会になりました。

髪の毛を提供してくださった看護学生の皆さまを始め、  
我々美容学生やスタイリストさん、その他全ての関係者様  
の想いが込められたウイッグであると思います。

このウイッグによって、少しでも患者さんの生活に笑顔  
を与え、豊かになることを心から願っています。

人生で初めて人の髪をカットさせて頂きました。

私にとっても、とても特別なウィッグです。

長い時間をかけて髪をのばしてくれた看護学生さんや

初めて人の髪をカットした私達、今回のキレイのカプロジェクトを

企画してくださった先生方。様々な思いが込められています。

皆で作上げたウィッグは絶対に素敵です。~~その~~ウィッグを

使った時、絶対にキラキラ輝いた女性に大変身できます。

自信は元々あるその人の美しさをさらに引き出すものだと思います。

ウィッグを着けて、女性としての自信と誇りを持って生きて下さい。

失ってしまった女性らしいことの喜びを取り戻して

ウィッグを着けた時、どうか笑顔と幸せで心がいっぱい満たされますように。

喜びや幸せを自分達の手で1つ、2つと沢山増やしていけるように

これからも頑張ります。心から美しくなれるよう全力で私達は美容師として

沢山の女性が

支えます。幸せを届けられる美容師になれるよう、全力を尽くします。

一緒に頑張らしましょう。



私のプロジェクトを通して私は、このようなプロジェクトがあることを初めて知り看護学校の学生さんたちが参加していて今回私の通っている美容学校も参加するということを知りてすぐに立候補しました。立候補した理由は、私のプロジェクトの説明を聞いて看護の学生やお医者医療機関だけでなく美容学校の生徒も患者さんの力になれる少しでも脱毛によって精神的ダメージを受けた患者さんに寄り添えることができると思ったからです。私の美容学生は看護学生が長い間患者さんのために伸ばした髪を切るということしかできませんが、それでも力になれるなと思いました。患者さんが脱毛によって受けた精神的ダメージは計り知れないのだと思います。ですが「私のプロジェクト」や医療用キットを寄附する団体が増えれば少しでもそのダメージを減らすことをかかせない。私が美容室を自分で持つようなことがあればお話でも聞いたように、髪切りに行きたけど、周りの目が気になるという不安を失くせるよう、1週間に1回、このような悩みを抱えている人のために専用の日にちをつくと髪をカットしたりお話ししたりして少しでも力になりたいと今日のプロジェクトを通して思いました。患者さんたちに少しでも笑顔が増えるように決めています。

看護学生さんの髪を切らせていただいて、

髪の大切さを改めて知ることができ、患者の皆様のお気持ちがいかに分かりました。

美容師という仕事はこんなにも人を幸せにできるんだと、実感し、このような機会を設けていただき、とても嬉しく思います。

看護学生さんの大きな思いが今日の場で伝わってきました。

その髪をウィッグとして使用していただくことは私としても光栄です。

希望を持って、治療を頑張ってください！

応援しています。



## <ウィッグ贈呈までの様子>

ウィッグの製作後、待ちに待った  
ウィッグの贈呈を各病院にて実施



看護学生が約半年間一生懸命ケアした  
髪の毛をまとめてスヴェンソンの  
ドイツの工場にて一度キレイにし、  
日本にてウィッグのご試着後に学生さんの  
ヘアドネーションを植え付けていきます。

おひとりずつに合うウィッグを製作。  
贈呈当日も会場にて最後のウィッグ  
調整を行う

## <ウィッグ贈呈様子>

**ウィッグをお贈りした皆さまから素敵な笑顔を頂きました！**

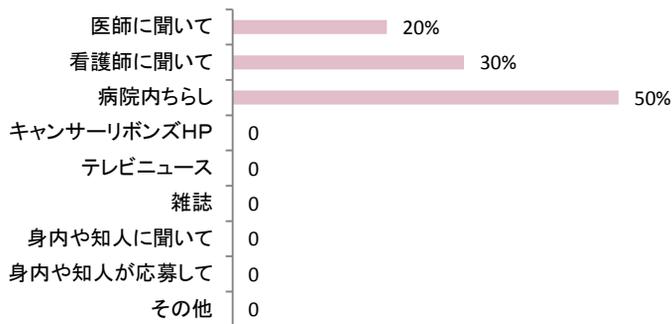


贈呈時には、皆様からいただいたメッセージを  
おひとりおひとりに、メッセージ集としてお渡しいたしました。

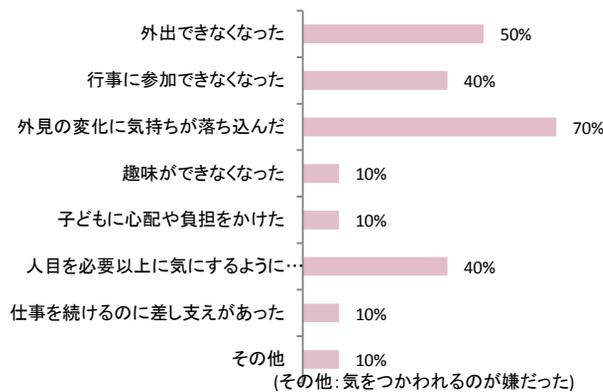
# <贈呈者アンケート結果>

## (1) ウィッグ贈呈企画にご応募いただいたきっかけ

(複数回答可) N=10



## (2) 脱毛して最も困ったこと (複数回答可)10

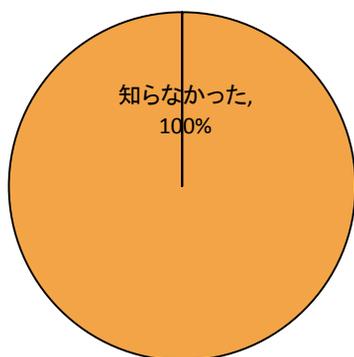


## (3) 治療や通院、副作用対策において困ったこと

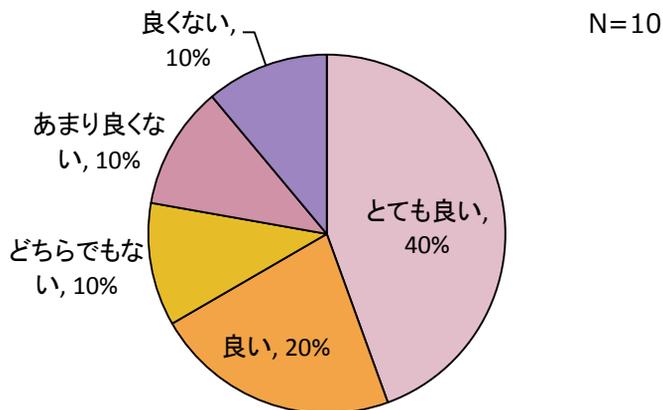
(自由回答)

- \* 外見がかわってしまい、外に出るのが嫌になってしまった。抜けはじめはすごくショックだった
- \* 帽子をかぶっていると、頭が熱くなり辛い
- \* 思っていた以上に治療や通院に出費がかかり、ウィッグまでは無理とあきらめて防止の準備しかできなかった
- \* カバーすることのできない外見の変化が自分も周りも一番対応に困る
- \* 2ヶ月間の入院生活で体力がとても落ちてしまった(食事するのも疲れる)、突然の入院だったので、準備ができなかった
- \* 今回脱毛は二回目となります。とにかくウィッグを準備しなければならないという現実がおっくうで仕方ありませんでした
- \* 抗がん剤治療やカテーテル装着によって、生活面での不自由さが増え、外出時の活動がしにくくなったこと
- \* 約10ヶ月治療をつづけていると、副作用でむくみがでてきて、特に足がひどくむくみ、足が曲げられない、ゆっくりしか歩けない等、不自由なことが多い
- \* 手術後まだ充分体力が回復していない時期からウィッグの準備や鹿への通院等忙しくなってしまう、発熱したり体調くずしてしまったこと。情報がどこにあるのかわからず情報集めもたいへんでした

## (4) 「キレイのカ」プロジェクトの認知度 N=10



## (6) 通院している病院でのウィッグ試着・贈呈について N=10



約6割の方が病院内でのウィッグ試着・お渡しについて良いと回答

(自由回答)

- \* いきなれた病院なのでわかりやすく行きやすい
- \* 慣れた場所だから
- \* 道に迷ったりの苦労はしたくないので、慣れたところで助かります
- \* 外に出たくなくて良いので体力なくてもチャレンジできる
- \* 治療と並行して行えるので、いろんな負担を軽減でき大変有り難く思います
- \* 病院が自宅から遠いため、もう少し近くの場所であれば
- \* 病院がとても行きにくい

(7) ウィッグを手になされてやりたいと思っていることなど

- \* 子どもの卒業式にオシャレをして行きたい
- \* 体力が回復したら外出を楽しんでみたい
- \* 前向きに治療し、自分治しを頑張ろうと思います。
- \* 今まで通りの生活(仕事・プライベートの過ごし方)
- \* 仕事はこれまで通り続けていきたい
- \* ウィッグやメイクをしておしゃれをして主人と軽井沢や伊豆へ行き、写真を撮ってもらいたい。  
友人とテニスも再開したい。
- \* 外に出られる自由さを実感したい。
- \* 子どもの卒業式に参加して、子どもの笑顔がみたいです。  
元気になった姿を見せて、子どもに安心してもらいたいです。



ウィッグをお贈りした患者さんからの  
直筆メッセージ

このプロジェクトに参加させていただき、看護学生の皆さんが  
患者さんの為に大切にしている髪を寄付してくださると知り、  
涙が出ました。

私は今脱毛が始まっています。

日頃の位の間を無くするのかと考えています。

でも先日ウイグを試着させていただき、とても可愛かった気持ちに  
なりました。

今後子供達の学校行事などに付けて行けると思うと安心も  
しました。

看護学生の皆さんに感謝しながら、一日一日と前向きに  
過ごしていきたいと思います。

本当にありがとうございました。

「ヘアプロジェクト」のことは、妻が大変お世話になっている看護師さんから  
教えていただきました。「ウイグウィッチ」の方が看護学生さんと同じ、皆様の  
患者さん寄り添う思いや、大切な髪を提供いただく決意に心から敬意を  
表します。孤独な日々の治療生活の中で、皆様からいただいた「絆」と  
「繋がり」の温かみに励まされました。本当にありがとうございました。(夫)



今回「キレイのカ」プロジェクトに採用していただき  
試着する時、いろいろと説明をしていただいた時には、  
看護学生さんたちが、半年間もの間、大切にケアして  
いただいた髪の毛を使用している事を知りました。  
女性にとって髪の毛はとても大切なもので、おしゃべりを  
楽しむ時には重要なアイテムです。若い女性なら、カラー  
パーマ、カットを楽しむべりしたいはずなのに、私たちのように  
患者さんの為には、大切にケアをしていただいた事、本当に  
うれしく、感謝の気持ちでいっぱいです。  
私も、もう10ヶ月、治療としておりまわが、副作用で  
苦しむ事もあり、外食も控えておりました  
しかし、病は気からとも言いますので、今から春にはなり  
暖かくもなりますので、素敵なおウツクと共におしゃべり  
家族や友人とおでかけを楽しみたいと思います。  
本当にありがとうございました。

まずは素晴らしいプロジェクトに巡り会えた事、そのプロジェクトに参加し、大切な  
日々の積み重ねを、見ず知らずの素人達へ投じて頂いた事、大変感謝を  
申し上げます。2014年に予期せず“患者”となり、その時々で状態に合った治療を  
続けられました。治療方法が変わる度に、何度も打ちのめされ、その都度壁を  
のりこえて今日までやって来ました。その日々を過ぎ感じてきた事は、

支えてもらえる事へのバのいせいです。見えない誰かが、自分を助けてく  
れていると思えるだけで、心に光が射込みます。

光は希望です。希望は生命力です。

パワーを頂き、治療を元気で張っていいと思います。

“病気の自分”から離れられる機会に本当に感謝です。

大切に日々を過ごさせて頂きます。

有難うございました！

☆ 看護学生の皆様 ☆

この度は皆様の大事な髪の毛を、このような形で寄付して頂き本当にありがとうございます。

私は現在27歳です。皆様に同世代の普通の女性です。

髪は胸下まで伸ばしたロングヘア。お酒好きも大好きです。

しかし、今日子宮ケイガンを患い生活は一変。ロングヘアも一旦、

ばり、トリショートにカットし、今は少しずつ抜が:着りの影響で脱毛が

始まっています。一般女性にとり髪というのは本当に大切なアイデンティティだとい

うことも分かっているし、その髪を失う悲し、そこに寄付する勇気、

頂くことへの感謝... このウヅグには様々な想いのこめられていると感じます。

今日皆様から頂いたこのウヅグで、今更には変りない生活を送ること

とても嬉しく、本当に楽しいにしています。

本当にありがとうございます。



この度はこのような機会を作って頂き  
ありがとうございます。

看護師の巧いお仕事は一生の宝に感じ

人のためにする仕事でやりがいがあると思えます

どうか、一人でも多くの人のために元気で頑張って下さい

長い間髪をケアし、ドナーションをしてくだりありがとうございます。  
このウイックに救われ前向きに治療をがんばることができています。  
正直今は自分の髪が抜けていくことに煩わしは感じてはいるものの、  
ショックは受けてはいません。なぜなら治療が終わればはえてくるし、  
期間限定なのかわかっているからです。人生初のスキャットを楽しみたい！  
ぐらいに思っています。ですが周りはそうではありませんでした。  
本人よりもショックを受けていたり、なかなか受け入れることができない人がいました。  
外見の変化が周りに与える影響の大きさを改めて認識することになりました。  
特に仕事への影響は大きなものがあり、「かん・指かん前・脱毛」という  
イメージが先行してしまし、本人は元気に仕事をしているのですが、コンプライアンスやら  
HRやマネジヤットの体制にまで話がなかつてしまし、本人は行くてもウイックが  
必要だなと思うようになりました。  
無毛状態

また子供達、特に子供の友人は病気のことをしっかり理解できる年齢では  
ないので、「女の人なのに髪がない！」とびっくりする子もいます。

外国と比べ外見の多様性が少なく、髪がない、もしくはとても短い女性は  
マイノリティーな日本において、様々な理由によりウイックが必要な場面は出てきます。  
治療と平行しながら仕事・育児をがんばる女性にとってこのような活動は  
大きなサポートとなります。

私のような場合や、髪を無くされてショックを受けている患者さんほど元気をもらい  
治療に専念できるのでは無いでしょうか。

本当にありがとうございます。

まずは、この度大切な髪を提供して頂いた看護学生様にお礼申し上げます。

初めてウィッグをつけた時、人工のつけ髪とは全く違ひ、とても自然でした。髪が抜ける前の自分のウェーブのある髪質とカラーがよく似ていたからなと思います。がんにな、高額な医療費がかかる中、夫に高いウィッグを買、とても良いかと聞く事ができます。帽子で我慢しようと思いましたが、抗がん剤が始まる時、病院に置かれ、あんなチラシを見、私は神様からの贈り物だと感じました。そして、頂けるとわかった時、この私の必要とする気持ちが届いたのだと思えました。

今、抗がん剤2回目が終わ、ほぼ髪が抜けました。これからは、週末おしゃべりして、夫とお出かけしたいです。副作用で精神的に落ち込んで、はかづいしましたが、これからは前向きに乗り越えられそうです。看護学生の皆様や関係者の方々の思いが、私を前向きに動かしてくれました。

本当に感謝しています!! ありがとうございます。

医療用ウィッグは、つけていて負担が少なく、頭が締めつけが  
れる感じもなかったのが、これからストレスがへりそうです。

私は、今、人生で二度目のガン、二度目の抗がん剤治療を  
しています。もう、この先髪がはえてくることがあるのかも  
わからないので、ウィッグ生活が続くことを覚悟しています。

そのため、こういった企画に携わりせていただけたこと、

大切な髪を寄付して下さった看護学生に感謝しています。

寄付する髪は、ある程度長さが必要な為、頑張って髪をのばし

続けて下さるのたと思います。髪をのばし続けるのもとても大変

だと思います。髪型をいばらぐ変えられないし、看護学生は色々せめ

られないと思うので、少し辛かったです。それでも、私たちのような

患者のために、大切な髪と、そののばしていた間の時間、ありがとうございます。

「髪は命」といって、その言葉があります。それを大切にうけついで、私たちに

患者は、笑って過ごせるのたと思います。

今までずっとぼうしてかかっていたので、これから、久しぶりに「髪」を感じ  
れることが、楽しみです!!  
ありがとうございます!!

化粧品は使わなくなると同時に一番気になった事は、皮膚が脱毛(脱毛)になってきた。今まで通りの生活を送っていた子、子供の学校行事にも参加できなかった。子供に美しい髪をさせたいのと「おと見...」主治医に、治療の延期を申し出たらしい。

たぶんウツグの資料をあげた。本当に今まで通りの生活ができた子が、とても不安になった時に、この日以外のクリニックで治療。初めてウツグの試着をした。

ウツグにはサポーターの代わりに髪が使用されていると、そのために、髪の色を黒くしてくださったことを知りました。

病気にたいして積極的に取り組むことが、ウツグを通じて、毎々二人に変えられている事を改めて感じました。

看護師さんは、患者さんで笑顔で話せることか、そして

素直に話を聞ける。サポーターの皆さんも素晴らしい看護師さんに

なっていると(もうね、)

おはさる髪の色も無事。子供の卒業式に出席できそうです。

本当にありがとうございます。